



PiCCO & PulsioFlex 設定ガイド

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲
TEL: 03-6863-5122 FAX: 03-5463-6856
第一 種医療機器製造販売業許可番号: 13B1X00176
www.getinge.com/jp

販売名: 循環動態モニター PulsioFlex 医療機器認証番号: 227ADBZX00185000
販売名: PiCCO カテーテルキット II 医療機器認証番号: 228ADBZX00035000
販売名: PCCO モニタリングキット II 医療機器認証番号: 227ADBZX00169000

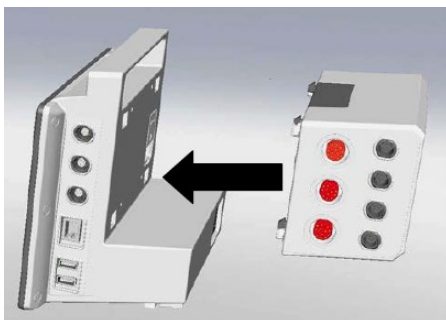
GETINGE 

1. PulsioFlexのケーブル接続準備

PiCCOモジュールをPulsioFlexへ取付け



1. PulsioFlex機器の背後にあるインターフェースプラグ保護をプラグから離す



2. ロックがかかるまでPiCCOモジュールを水平方向にゆっくりと動かす

※取り外し時の注意点※

PiCCOモジュールをPulsioFlexモニターから取り外すときは、PiCCOモジュール上部にあるロック解除ボタンを押して、モジュールをゆっくり水平方向に取り外してください

1. PulsioFlexのケーブル接続準備

PiCCOモジュールへケーブル接続

動画での説明は
こちらから



注入温度測定ケーブル

注入液測定ケーブルは温度測定ケーブルの途中の黄土色の接続部に接続



温度測定ケーブル



熱希釈用の温度測定ケーブルのオレンジ色のコネクタは、PiCCOモジュールのオレンジ色の接続部に接続



PiCCOモジュール



圧測定ケーブル



動脈用の圧測定ケーブルの赤色の接続部は、PiCCOモジュールの左端の真ん中の赤色の接続部に接続

動脈圧
中心静脈圧

AUXケーブル

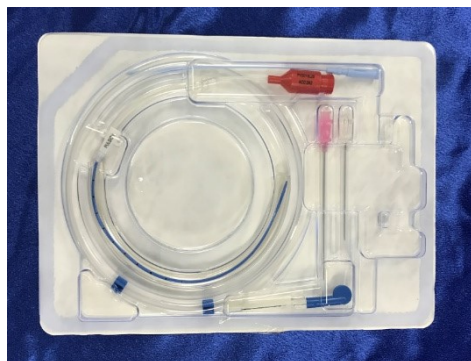


AUXケーブルを介して連続動脈圧をベッドサイドモニターへ出力することが可能

中心静脈圧用のケーブルは、専用のPiCCOモニタリングキットを使用する場合のみ適用

2. PiCCOカテーテルキットの内容とPiCCOカテーテルの接続準備

動画での説明は
こちらから



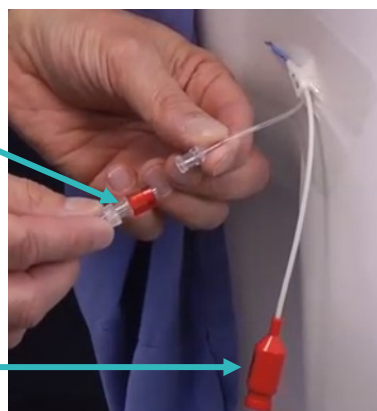
PiCCOカテーテルキットの内容

- PiCCOカテーテル
 - 穿刺針
 - ダイレータ
 - ガイドワイヤ
- (挿入手技はセルディングガー法)

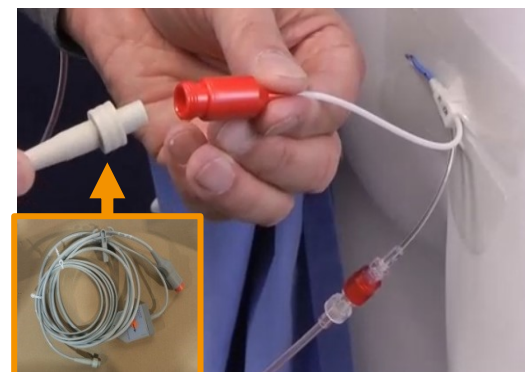
PULSION #	サイズ	留置位置例
PV2013L07-A	3Fr.7cm	大腿（小児）
PV2014L08-A	4Fr.8cm	腋窩（成人）
PV2014L16-A	4Fr.16cm	上腕（成人）
PV2014L22-A	4Fr.22cm	上腕（肘窩周辺）（成人）
PV2015L20-A	5Fr.20cm	大腿（成人）

PiCCOモニタリングキット

PiCCOカテーテル



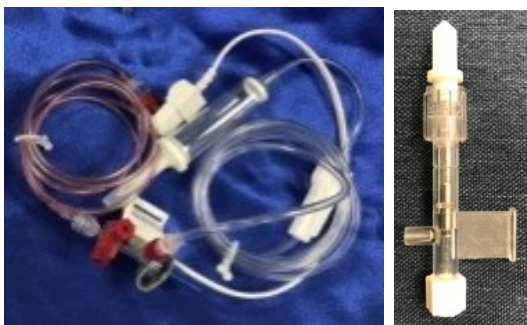
1. PiCCOモニタリングキットをPiCCOカテーテルに接続



2. PiCCOカテーテルに温度測定ケーブルを接続

3. モニタリングキットの説明と中心静脈カテーテルへの接続準備

動画での説明は
こちらから

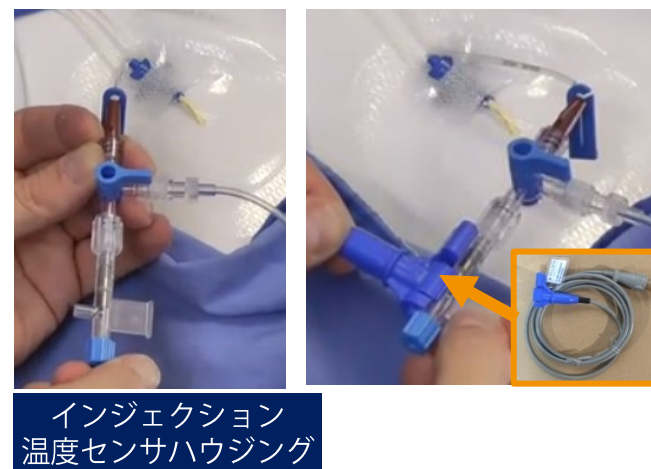


PiCCOモニタリングキットの内容

- PiCCOモニタリングキット
- インジェクション温度センサハウジング
(単品販売もあり)



1. 圧測定ケーブルをPiCCOモニタリングキットの圧トランスデューサケーブルに接続



2. 中心静脈カテーテルのディスタルにインジェクション温度センサハウジングと注入液測定ケーブルを接続

動画QRコードリスト

PiCCO使用時のPulsioFlexやPiCCOモジュールと各ケーブルやルート類の接続方法



PiCCO&PulsioFlexの
ケーブル接続 1～3

1. PulsioFlexのケーブル接続準備
2. PiCCOカテーテルキットの内容とPiCCOカテーテルの接続準備
3. モニタリングキットの説明と中心静脈カテーテルへの接続準備



PiCCO使用時のQ&A



PiCCOトラブル
シューティングガイド

PiCCOトラブルシューティングガイドで解決できないトラブルに関しましては弊社担当セールスまでお問合せください

循環動態モニタ PulsioFlexに関する情報



PulsioFlex製品情報



News Letter配信登録

循環動態モニタ PulsioFlex 表示パラメータ（ProAQTとPiCCO共通）



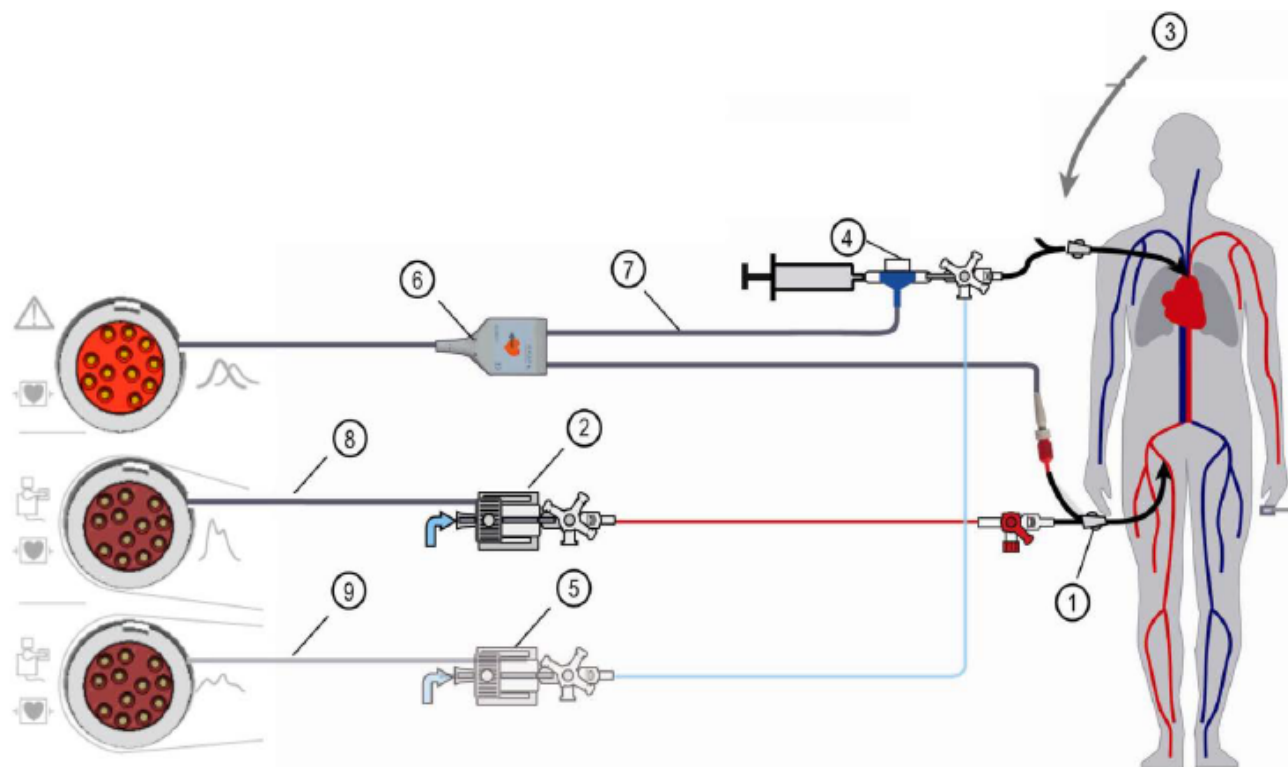
項目	略号	単位	標準域	
心拍出量	CO			一分間に心臓が送り出す血液量
心係数	CI	L/min/m ²	3—5	心拍出量（L/min）を体表面積（BSA）で除して算出したもの
一回拍出量	SV	ml		一回の拍動で心臓が送出す血液量
一回拍出量係数	SVI	ml/m ²	40—60	一回拍出量体表面積で除して算出したもの
一回拍出量変動率	SVV	%	0—10	一定の時間の心拍出量の変動率。輸液反応性の予測が可能 輸液負荷により、心駆出量が増大することを示す
脈圧変動率	PPV	%	0—10	一定の時間の脈圧の変動率。輸液反応性の予測が可能 輸液負荷により、心駆出量が増大することを示す
体血管抵抗	SVR	dyn・s・cm ⁻⁵		心臓からの駆出に対しての血管の抵抗指数
体血管抵抗係数	SVRI	dyn・s・cm ⁻⁵ ・ /m ²	1700—2400	SVRを体表面積で除して算出したもの
拍出効率	CPO	W		心臓の全般的な機能の指標
拍出効率係数	CPI	W/m ²	0.5—0.7	CPOの計算にCIを使用したもの
左室収縮力指標	dPmx	mmHg/sec		dPmx は、 $\Delta P/\Delta t_{max}$ の省略形 収縮時にどれだけ早く大動脈圧が上昇するかを意味する 左心室収縮性の近似値を示す
心拍数	HR	bpm		一分間あたりの拍動数
平均動脈圧	MAP	mmHg	70—90	動脈系における血圧の平均値

循環動態モニタ PulsioFlex 表示パラメータ (PiCCO)



項目	略号	単位	標準域	
心臓拡張末期容量	GEDV	ml		前負荷のパラメータ 患者の血流状態管理と輸液管理の指標となる
心臓拡張末期容量係数	GEDI	ml/m ²	680-800	GEDVを予測体重を使用した体表面積で除したもの
肺血管外水分量	EVLW	ml		肺内の肺血管外水分量を定量化するパラメータ 肺水腫の状態評価の際に用いられる 測定の際、肺胞間、細胞間、間質性肺水分量が考慮されるが、胸水は影響しない
肺血管外水分量係数	ELWI	ml/kg	3-7	EVLWを予測体重で除したもの
肺血管透過性係数	PVPI		1.0-3.0 : 心源性肺水腫 3.0以上 : 非心源性肺水腫	肺水腫の原因の鑑別に使用される 心原性⇔非心原性の違いを特定
全駆出率	GEF	%	25-35	右心 / 左心の収縮力の指標となる 右心 / 左心の機能不全の特定の際に使用
心機能係数	CFI	l/m	4.5-6.5	心拍出量と心臓拡張末期容量の比率を表す 患者個別の指標

PiCCO使用時ケーブル類接続全体図



- ① PiCCOカテーテル
- ② PiCCOモニタリングキット
- ③ 中心静脈カテーテル
- ④ インジェクション温度センサハウジング
- ⑤ 中心静脈圧トランスデューサ
- ⑥ 温度測定ケーブル
- ⑦ 注入液測定ケーブル
- ⑧ 圧測定ケーブル（動脈圧）
- ⑨ 圧測定ケーブル（CV専用のモニタリングキット使用時のみ）



GETINGE

PASSION FOR LIFE